

R・シュトラウス作曲 楽劇「無口な女」

150312

幕	場	場面	内容	分	歌う登場人物										見どころ		
第一幕 50分	前奏曲			4													
	1	嫁を探す モロザス卿	騒々しい女中の声で目が覚めたモロザス卿は、髭剃りに来た理髪師から、物静かで従順で若い嫁をもらおうと言われるが、自分が欲しいのは家の静けさだけである、と言う。そこに、消息不明だった愛する甥のヘンリーが戻り、一緒に住むことになる。卿は、自分の遺産はヘンリーにあげるので、嫁はいらないと言う。	16	女中	理髪師	モロザス										
	2		しかし、モロザス卿は、ヘンリーがオペラ歌手になっており、かつ、歌手のアミンダがヘンリーの妻となっていることを聞き、仰天する。卿は、モロザス家の人間が、芸人になっていることを許さず、遺産相続の話を取り消す。そして、同席していたオペラ団のヴェヌツツイ達を、侮辱する。卿は、理髪師に、静かで無口の女と明日中に結婚するから、嫁を探せ、と言う。	26	女中	理髪師	モロザス	ヘンリー	イゾッタ	カルロッタ	ヴェヌツツイ	モルビオ	ファルファッコ				
	3	理髪師の 工作	侮辱され名誉を傷つけられたヴェヌツツイ達は、怒りが収まらない。理髪師は、卿は誠実な人であるが、若い時に乗務していた軍艦の火薬庫が爆発し、鼓膜が潰れてしまい、それ以降、騒音に耐えられないのだ、と説明する。また、莫大な財産家なので、怒りやプライドを抑えるよう、言う。他方、アミンダは、卿に同情し、ヘンリーに自分は身を引く、と言うが、ヘンリーは、財産より愛を選ぶと言ひ、芸術と友情もかけがえのないものと言う、ので、一同、抱擁し合う。	20		理髪師		ヘンリー	アミンダ	イゾッタ	カルロッタ	ヴェヌツツイ	モルビオ	ファルファッコ			
4	理髪師は、ヴェヌツツイ達オペラ団メンバーに芝居で協力してもらい、卿に偽装結婚をさせ、ヘンリーが再び相続になるよう、仕組む。一同、卿の偏見を正し、芸術のすばらしさを教えよう、と歌う。		10		理髪師		ヘンリー	アミンダ	イゾッタ	カルロッタ	ヴェヌツツイ	モルビオ	ファルファッコ				
第二幕 60分	1	仕組まれた 結婚	正装に着替えているモロザス卿は、女中から、今日のお見合いは理髪師の企てである、と密告されるが、靴屋で口を縫ってもらえ、と言う。	5	女中	理髪師	モロザス										
	2		モロザス卿は、「田舎娘扮するカルロッタ」でなく、「気取りや扮するイゾッタ」でなく、「素朴な娘ティミーディア扮するアミンダ」に惚れ、嫁にすることに。理髪師は、「牧師に扮したヴェヌツツイ」と「公証人に扮したモルビオ」を連れてきて、結婚式を挙げさせる。	25		理髪師	モロザス		アミンダ	イゾッタ	カルロッタ						
	3	アミンダ達 に 苦しめられる モロザス卿	モロザス卿は、公証人立ち会いのもと、アミンダと結婚し、参列者一同ワインで乾杯する。そこに、「酔っ払った老水夫扮するファルファッコ」を筆頭に、卿の元部下と偽った下品な水夫の一同が入ってきてわざと騒ぎ、理髪師に誘導されて居酒屋に移動し、みな出て行く。	15	女中	理髪師	モロザス		アミンダ			ヴェヌツツイ	モルビオ	ファルファッコ			
	4		アミンダは、卿と二人きりになったが結婚式後黙りこくっている。モロザス卿が、しつこく理由を聞くので、「静けさが欲しい、家の内装を変える」等、騒ぎ始める。卿は、アミンダのその豹変ぶりに絶望し、ヘンリーに、卿の部屋に来させないよう助けを求める。	35			モロザス	ヘンリー	アミンダ								
	5		ヘンリーとアミンダ	ヘンリーは、モロザス卿に、アミンダを見張るからと言い、安心させるので就寝する。ヘンリーは、卿に同情するアミンダに一層惚れて、こっそり愛し合う。	10			モロザス	ヘンリー	アミンダ							
第三幕 38分	1	離婚できず 死を望む モロザス卿	翌朝、アミンダは、「内装業者扮するオペラ団員達」に部屋の模様替えを指示し、「歌手扮するヘンリー」と「チェンバロ奏者扮するファルファッコ」が来て歌のレッスンを始めて、わざと屋敷内を騒々しくさせている。予想通りモロザス卿は、嘆くが、アミンダは無視する。	8	女中		モロザス	ヘンリー	アミンダ							ファルファッコ	
	2		「判事扮するヴェヌツツイ」と「弁護士に扮するファルファッコとモルビオ」を連れた理髪師が屋敷に来て、離婚裁判が始まる。モロザス卿は、結婚後に無口な女が豹変したことを理由にするが、「当たり前の話だ」として却下される。」また、理髪師から、貞操感のない女だったことを離婚理由とするが、契約に記載されていないとしてこれも却下される。モロザス卿は死のうとする。	23	女中	理髪師	モロザス	ヘンリー	アミンダ	イゾッタ	カルロッタ	ヴェヌツツイ	モルビオ	ファルファッコ			
	3	幸福感を味わう	モロザス卿は、ヘンリーから真相を聞かされアミンダから謝罪を受ける。卿は、怒るを抑え自分を含めた芝居を逆に讃え、全員を許し、全員で乾杯し、卿は、幸福感を味わい幕となる。	15	女中	理髪師	モロザス	ヘンリー	アミンダ	イゾッタ	カルロッタ	ヴェヌツツイ	モルビオ	ファルファッコ			

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。